

村上 常雄 議員
(一括質問方式)



- ①第3次大洲市総合計画について
- ②地域の環境整備について
- ③選挙における投票率向上策について

第3次大洲市総合計画の策定方針等について

問 今年度から2か年をかけて策定される大洲市の最上位計画である第3次大洲市総合計画について、策定方針や特筆すべき点を説明してほしい。

答 次期計画では、これまでの計画から大きく2つの変更を予定しています。

1つ目は、市の目指すべき将来像を示す最上位計画である総合計画、また、人口減少の克服と地域活性化を目的とした総合戦略及びその基礎となる人口ビジョン、そして、持続可能な開発目標の達成に向けた具体的な取組を示すSDGsアクションプログラムを統合することです。これにより、各計画の目標や施策を一体的に捉え、共通の目標の下で行政運営を行うことができ、より効果的かつ効率的な施策の推進が可能になるものと考えています。

2つ目は、計画期間の変更です。これまでは基本構想の計画期間を10年とし、基本計画を前期・後期の2期に分けて5年で見直しを行っていましたが、急激に変化をする社会経済情勢と多様化する住民ニーズへ対応するため、また、職員が計画を意識して業務を遂行するため、次期計画では、基本計画に当たる中期ビジョンを1期3年とし、3期9年を基本構想に係る長期ビジョンの計画期間としています。

中期ビジョンでは各施策の目標を設定し、その達成に向けた具体的な事業を取りまとめ、毎年ローリング方式で進捗管理を行うとともに、3年目には各施策の評価を行い、その結果を次期中期ビジョンへ反映させることで、計画の実効性を高めていきたいと考えています。

郷土美化運動について

問 毎年7月の第2日曜日に実施しているが、猛暑

の中では参加者の体調管理に不安がある。他市町では暑さ対策のため、実施時期の変更や中止しているところもあるが、市の考えを伺いたい。

答 7月が近年の異常な暑さで熱中症等への注意が必要な大変厳しい時期になっている状況の中で、地域の皆様にご協力いただいていることは十分認識しており、各地区の都合のよい涼しい時間帯での作業や夏場を避けた適当な時期での実施、また、適時適切な水分補給や休憩の呼びかけなど、熱中症予防対策の実行をお願いしています。

現在把握している範囲では、市内全地区の約9%に当たる48地区において、自主的に一斉清掃日以外に、無理のない安全な範囲で清掃活動を実施されていると聞いています。

なお、次年度からの一斉清掃実施時期の方針を定める際は、現状、多くの地区で7月の一斉清掃に合わせて草刈りや除草作業を実施しているということ踏まえながら、各自治会や関係各所と協議を行い、決定していきたいと考えています。

今回の参議院議員選挙での投票率向上のための大洲市選挙管理委員会の取組と成果について

問 今回の選挙での市選挙管理委員会における取組とその成果について伺いたい。

答 今回の参院選から開設したオズメッセ期日前投票所では、6日間の開設で3,538人、有権者数の10.65%の方に投票いただきました。前回の参院選での期日前投票所における投票者数合計が6,118人、投票率17.37%であったのに対し、今回がそれぞれ9,611人、28.93%となっておりますので、投票日当日が3連休の中日という点を差し引いても、投票率の向上に一定の効果があったものと思われます。

また、主権者教育の一環として、大洲高等学校と大洲農業高等学校で、それぞれ期日前投票所を開設しました。対象となる生徒に事前に案内チラシを配布したほか、校内で投票所が開設されている様子を1・2年生にも見てもらうことができたことなど、選挙を身近に感じることで、若年層の今後の投票行動への好影響を期待しています。